

# コシヒカリの収穫時期です。 適期収穫を!!



8月25日から26日にかけて接近した台風15号の影響により、管内の一部地域において強風による脱粒や白穂等の被害が確認されております。又、台風の影響や8月下旬からの断続的な降雨により、稲の倒伏による「穂発芽」も懸念されます。積算気温からのコシヒカリ収穫適期(5/10移植)は概ね9月18日頃からになりますが、下記の通りイネの乾き具合やほ場条件を良く確認し、適期に刈取りを実施しましょう!!

## 1. 適期刈取り

### コシヒカリは概ね“刈取り適期”を迎えております!!

～コシヒカリの収穫に際し、以下のようなほ場は特に注意が必要です。

ほ場を確認頂き適切な収穫作業を行いましょう～

#### 【注意が必要なほ場】

##### <稲の状態>

- ◆台風直後からの完全倒伏、又はそれに近い倒伏がみられる。
- ◆茎葉・枝梗の傷み、枯れ込み。(今後登熟は見込めません。)
- ◆倒伏により穂発芽がみられ始めた。

##### <対応策>

- ①イネの乾き具合やほ場条件を確認し可能な限り刈取りを早めましょう。
- ②可能であれば倒伏していない他のほ場と区分して、収穫乾燥調整を行いましょう。
- ③穂や茎葉の傷み具合の観察を続け、適期収穫に努めましょう。

#### ◆主要品種(5月10日移植)の収穫適期めやす

品種	出穂日	収穫適期予想
コシヒカリ	8月6日	9月18日(金)から9月24日(木)
越淡麗	8月11日	9月24日(木)から10月2日(金)

## 2. 飽差情報 9/10 現在

○飽差値は、胴割れの危険水準  $9 \text{ g/m}^3$  を超える日はありません。

○断続的な雨天に見舞われましたが、9月10日現在の籾水分はコシヒカリで24～26%と籾水分が低く登熟がすすんでおります。刈遅れや急激な乾燥調整に注意しましょう!!

## 3. 丁寧な乾燥と調製を

～乾燥速度が「毎時乾減水分0.8%以上」になると胴割れが発生しやすくなるため、乾燥には十分な注意が必要です～

- ①生籾は、籾の高水分や高温により変質しやすくなります。収穫後は出来るだけ早く乾燥機に張り込み、循環通風して変質を防止しましょう。
- ②仕上げ水分15.0%を目標に乾燥機の自動水分計が17%以下になったら、こまめにサンプリングし手持ちの水分計で測定しましょう。
- ③胴割れ、肌ずれ、籾の混入を防止するため、ゴムロール間隔は0.8～1.2mmを基準に脱ぶ率が80～85%になるよう調整しましょう。

\*乾燥機張り込み時の水分を確認のうえ、下記表を参考に送風温度を調整して下さい。

張り込み時籾水分	28%以下	24%以下	18%以下
乾燥温度	40℃以下	50℃以下	昼間は循環通風。水分ムラ解消後の夜間頃から乾燥温度を低めに設定して本格乾燥。